

はじめに

本校学則 第9条および履修内規に基づき成績評価をしている。

出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。

◆科目別評価点の算出方法◆

科目別評価点の算出においては、各科目の特性に応じてあらかじめ設定した評価項目（以下の7項目により選定）と評価割合を用いて求めることとする。

◆科目別評価点と評価の対応表◆

科目別評価点	科目別評価
80点以上	優
65～79点	良
60～64点	可
59点以下	不可（不合格）

◆評価項目◆

1.定期試験（筆記試験）

定期試験は100点満点とする。合格点は60点とし、59点以下は不合格とする。

追試験での最高得点は90点とし、得点に応じて評価する。

再試験での最高得点は60点とする。

2.小テスト

実施した小テストの当該学生の点数の合計を算出し、満点の合計で除して得られる数値に100を乗じた数値を、当該学生の小テスト評価とする。

3.提出物（原則として、提出期限内に提出されたものを評価対象とする）

	優	良	可	不可
レシピノート	「良」の評価に加え、重要なポイントや自ら調べた内容等が記載されている。	指定されたレシピ数があり、内容も誤りなく記載されている。	指定されたレシピ数に達しているが、内容が誤りや誤字脱字が多く見られる。	指定されたレシピ数に達していない。写真等が添付されていない。または提出がされていない。
レポート	「良」の評価に加え、客観的事実やデータに基づいた考察がなされており、説得力がある内容になっている。	テーマに即した内容であり、指定された分量の9割以上を満たしている。	ある程度テーマに沿った内容になっているが、一部逸脱した部分が見られる。または、指定された分量の9割を満たしていない。誤字脱字が多く見られる。	テーマから逸脱している。または、指定された分量を明らかに満たしていない。
課題	「良」の評価に加え、課題に対して丁寧さや、工夫が見られる。	テーマに即した内容であり、完成度が8割を満たしている。	テーマに即した内容であり、完成度が6割を満たしている。	課題が提出されていない。

4.技術向上試験（7 STEP プログラム）

	優	良	可	不可
技術力	与えられた課題を実行する技術が優れている。	与えられた課題を実行する技術が十分にある。	与えられた課題を実行する技術はあるが、努力は必要である。 または、再チェックで課題を実行できた。	与えられた課題を実行する技術が不足している。

5.学習態度

	優	良	可	不可
講義型 授業	「良」の評価に加え、講師の問いに積極的に対応するなど、能動的に授業に臨んでいる様子が見られる。	講師の話に耳を傾け、メモを取るなどして授業内容の理解に努めている様子が見られる。	授業に集中していないなどの様子が見られる。（他者に迷惑をかける行為とはいえない）	時折、居眠りや私語など他者に迷惑をかける不適切な行為が見られる。
演習型 授業	「良」の評価に加え、分からなくて困っているクラスメイトに教えてあげる等、他者貢献の姿勢が見られる。	自身の演習課題に真摯に取り組み、スキル向上に努めている様子が見られる。	他者に迷惑をかける行為はないが、自身の演習課題に取り組まないことがある。	時折、居眠りや私語など他者に迷惑をかける不適切な行為が見られる。
実習型 授業	「良」の評価に加え、他のメンバーの動向にも配慮し、積極的にコミュニケーションを図り、的確なリーダーシップを発揮している。	目的達成に向けてグループで協力して取り組む姿勢があり、積極的に自分の役割を果たそうとしている。	目的達成に向けてグループで協力して取り組む姿勢はあるが、指示されたことしか取り組もうとしない。	目的達成に向けてグループで協力して取り組もうとする姿勢があまり見られない。

6.身だしなみ・挨拶・衛生

	優	良	可	不可
礼儀 マナー	「良」の評価に加え、他の学生の模範となるような行動ができる。	指定された服装を衛生的に着用している。 自ら挨拶を行うことができる。	指定された服装を衛生的に着用している。 他者から挨拶をされたら応えることができる。	指定された服装ではない。または手入れがされていない。 頭髪や爪が不衛生である。

7.その他

上記 6 項目以外に、評価項目が必要な場合は、別途定める。